

北陸新幹線の整備促進について

北信越部会提出

北陸新幹線の整備は、高速鉄道ネットワークを環状化することにより、東海道新幹線の災害時の補完機能を果たすなど、国土強靱化を図るうえで、極めて重要な国家プロジェクトです。

併せて、交流人口、定住人口の増加等、地方創生や地域の活性化に寄与するとともに、国土の均衡ある発展に極めて大きな効果をもたらすものです。

平成29年3月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームによる敦賀—新大阪間の全区間のルートが決定するとともに、令和元年5月には概略の駅及びルートが公表され、現在環境アセスメントが進められております。開業効果を早期に発現させるためには、令和5年3月末までの着実な敦賀開業とともに、新大阪までの早期開業が必要であります。

つきましては、下記の事項について要望いたします。

記

- 1 令和5年3月末の敦賀開業に向け、必要な予算の確保も含め着実に整備を進めること。
- 2 敦賀以西についても、建設財源を早期に確保し、敦賀—新大阪間の環境アセスメントを沿線地域の意見を踏まえながら迅速かつ着実に進めるとともに、敦賀開業後も切れ目のない整備を行い、令和13年3月末までに新大阪までの全線開業を実現すること。
- 3 敦賀開業時の北陸圏と関西・中京圏とのアクセスについては、その円滑な流動性を確保するため、在来特急列車の運行本数の維持・拡大、所要時間の短縮等利便性の向上を図ること。